

授業紹介 「SSH応用」 3年生 理教科

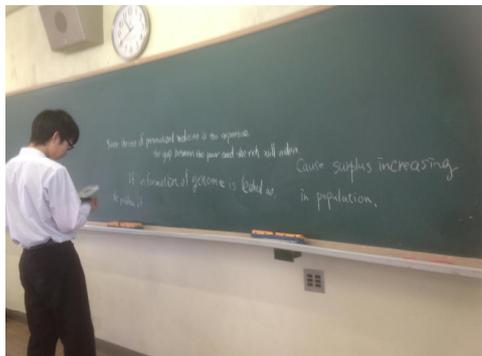
理教科では、SSH学校設定科目として、「情報科学（1年次）」「SSH基礎（1年次）」「ライフサイエンス（1・2年次）」「SSH課題研究（2年次）」「SSH応用（2・3年次）」を学習しています。今回は、英語科宮本教諭、吉山教諭、カール・ウィンダック外国語指導助手（ALT）が指導する「SSH応用（3年生）」を紹介します。

授業では、初めに最新の現代科学に関する、英語で書かれた長文を読みます。これまでに授業で扱ったトピックは以下のとおりです。（例）

- The world helium gas shortage and why it is important (ヘリウムガスの供給不足とその重要性)
- Growing meat in a laboratory to solve world food shortages (食糧不足解消のための実験室内における食肉培養)
- The variety of bacteria living inside humans and their effects on our health (人間の体内に生息するバクテリアと健康への影響)
- The development of personalized medical treatments (個別化医療の進歩)

「SSH応用」の目標

- ①最新の現代科学に関する教材を読み解く。
- ②生きた英語にふれるとともに、長文を読むことについての抵抗感をなくす。
- ③話し手、書き手の意図や要点を把握し、複雑な情報を簡単な英語に要約する能力を育成する。
- ④現代科学について自分の意見をまとめ、口頭で発表したり、書いて表現する能力を育成する。



読解後は本文を要約したり記事に関して意見を述べたり（写真左上）します。その後、友人と意見交換し（写真左下）、その意見について先生方から英語でコメントをもらいます。

授業はほぼオール・イン・イングリッシュで行われ、科学に関する専門用語を学ぶだけでなく自分の感想や意見を表現するコミュニケーション能力を育成することができます。

英語による理解力・表現力が向上していくことはもちろんですが、本校SSHの研究開発課題でもある『観』の形成にも大いに役立っています。



以下は、「個別化医療（オーダーメイド医療）」について、生徒が書いた意見です。

Since the cost of personalized medicine is too expensive, the gap between the rich and the poor will widen.

個別化医療の費用は高額なため、富裕な人々と貧困にあえぐ人々の格差が拡大する。

If information of genome is leaked out, it will cause a problem of privacy and some people will be forced to buy medicine by companies.

もし、特定の個人のゲノム情報が漏えいしたら、プライバシーの問題が生じるとともに、その情報を得た企業が薬を買うことをその個人に強制するだろう。

